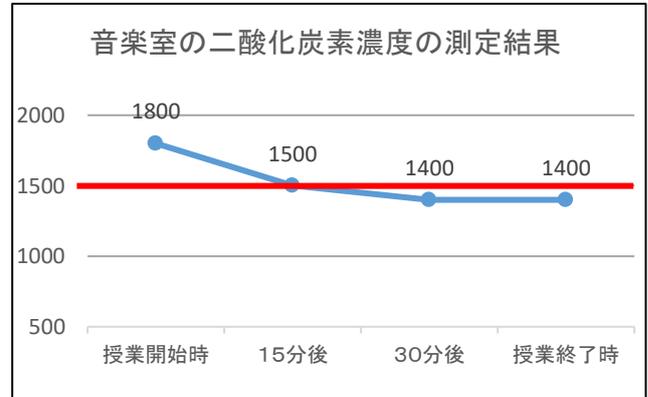
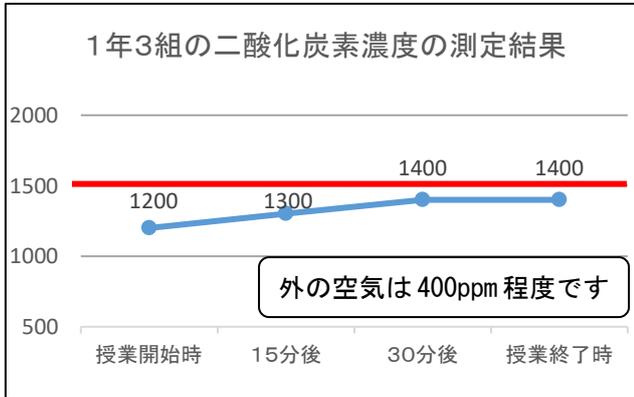




寒いが続いていますが、教室の換気はできていますか？1月22日(木)に、1年3組と音楽室にて空気の検査を行いました。その結果を見ながら、換気の大切さについて考えてみましょう。

換気的重要性



学校では夏と冬に空気の検査をしています。教室内の二酸化炭素濃度の基準値は 1500ppm 以下です。音楽室では、休憩時間中の換気が不十分だったためか、授業開始時から基準値を超える 1800ppm でした。その後、換気のため、窓を少し開けたので、だんだんと二酸化炭素濃度が下がり、授業終了時には基準値を下回る 1400ppm まで下げることができました。

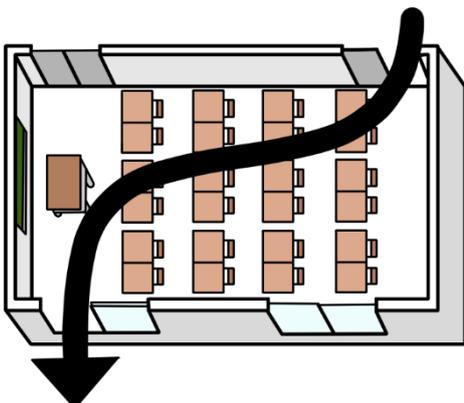
1年3組は授業開始時から授業終了時まで、1500ppm を超えることはありませんでしたが、授業中は窓を少し開けて常に換気をしていました。換気をしていなかったら、確実に 1500ppm を超えたと思います。

このことからわかるのは

- ・ 休憩時間中はしっかりと窓やドアを開けて換気をする必要がある。
- ・ 授業中も窓やドアを少し開けて換気を続ける必要がある。

ということです。授業中は、教室の窓やドアを2か所、10cmずつでいいので、常に開けておくようにしてください。これだけで、教室内の空気を新鮮に保つことができます。

換気は対角線で 10 cm



二酸化炭素濃度	人体への影響
1000ppm	思考力に影響し始める
2000ppm	眠気を感じる人が出てくる
3000ppm	肩こりや頭痛を感じる人が出てくる
3000ppm 以上	集中力や意思決定に支障をきたす

参考: 米ローレンス・パークレー国立研究所とニューヨーク州立大学の研究報告